



平成31年度測量の日関連行事

地図パネル展（福井市）

令和元年5月30日（金）▶ 6月1日（土）

8:30～17:30

福井駅東口アオッサ
1Fアトリウム
入場無料



主な内容

- 近代測量150年のあゆみと空中写真・地図で見る福井駅周辺の移り変わり
- 防災に役立つ活断層図や地形を立体的に見られるガリバー地図
- ミウラ折りやクイズなどのチャレンジコーナー

【主催】  国土地理院北陸地方測量部

〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-7 富山合同庁舎5階 TEL 076-441-0888

6月3日は測量の日です

ひとりでも多くの方が地図に親しみ、測量の重要性について理解していただくため、6月3日「測量の日」を中心に様々なイベントを全国で企画しています。この地図パネル展(福井市)は、明治2年(1869年)に近代測量が開始されてから今年で満150年となることから、近代測量150年の歩みや国土地理院の最近の活動を紹介したパネル、地図・空中写真で見る福井駅周辺の移り変わりなどのパネルを展示します。

地図パネル展(福井市)主な展示内容

地図と測量 昔と今とこれから

1869年(明治2年)以降、政府は近代化に向けて、国土を正確に把握し管理するための測量事業を始めました。2019年は近代測量が始まってから150年。これからも人々の暮らしを支えています。

1869 国土の姿の把握

2019 地理空間情報を広く利用できる社会の実現

避難場所の確認 カードナビや道案内 宇宙測地技術を活用したさまざまな計画

災害対策 ドローンサービス 自動運転

Future 地図と測量の発展で生活をより豊かにする挑戦

昔と今をつなぎ、未来を作る「地図」

近代測量150年。国土の発展の足跡を未来へ。

【東京駅周辺】

150年前(迅速測図)

- 近代測量により広範囲な地域を測量した我が国最初の地図。
- 明治18年(1885年)から、明治19年(1886年)まで関東地方で作製。
- 正式名は「第一等電報地方2万分之一迅速測図原図」。

今(電子国土基本図)

- 我が国の国土全域を覆う最も基本的な地図。
- 国土の変化に対応して、日々内容を更新。
- オンライン提供のほか、ウェブ上の「地理院地図」で公開。

①工事関係等 多いと早く人手 ②国の基本図の データベースを更新 ③更新データを地図に表現 (日々更新のイメージ)

災害リスクを知る!

災害の記録 防災地理情報

災害から身を守ることに繋がります。

近年、地震や火山噴火、台風、豪雨災害など多くの激しい災害が日本列島を襲っています。このような災害から自分の命を守るためには、自分の住む場所がどのような災害のリスクがあるか知っておくことが重要です。

国土地理院では、みなさんが地域の自然災害リスクを知ることができるよう、災害記録や防災地理情報を、わかりやすい形で提供しています。

風水害・地震 活断層 火山噴火 地震・火山 活断層 防災対策に活用 火山基本図 高図 写真地図 地形図

各種防災地理情報はこちらから閲覧できます

空中写真と地図で見る福井駅周辺の移り変わり(昭和)

昭和23年(1948年) 昭和24年(1949年)

6月29日米軍撮影(福井地震の翌日) 五万分一地形図 福井 地理院調査所作成

昭和37年(1962年) 昭和40年(1965年)

7月29日国土地理院撮影 五万分一地形図 福井 国土地理院作成

地理院地図で見る活断層図「福井」

平成7(1995)年に発生した阪神・淡路大震災後、地震災害を引続きこの活断層に関する情報の整備及び公開の必要性が高まったことに応えるため、国土地理院では大地震の際に大きな被害が予想される都市域とその周辺について、活断層の位置を詳細に表示した2万5千分の1「都市圏活断層図」を平成7年より活断層の研究者の協力を得て作成しています。

都市圏活断層図は、地震防災対策などの基礎資料として利用されています。「都市圏活断層図 福井」平成13年に刊行されていますが、現在は、「地理院地図」を使って見ることが出来ます。また、近年は、都市域に限らず全国の活断層を対象として整備を進めていることから、平成29年10月より名称を「1:25,000活断層図」に変更しました。

平成30年度における地図パネル展(道の駅あらい)開催の様子

